

ブロック塀を点検しましょう

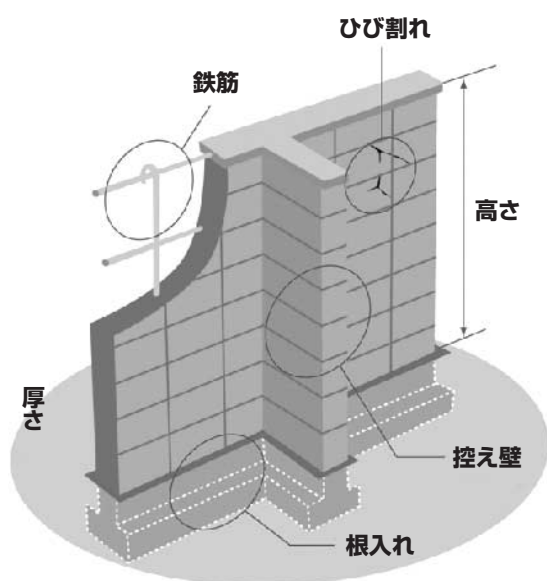


平成30年6月18日に発生した大阪府北部の地震では、ブロック塀の倒壊による死亡事故がありました。国土交通省において、ブロック塀の安全対策のためのチェックポイントを作成しましたので、塀の所有者の方はこれを参考に、ブロック塀の安全点検に取り組むようお願いいたします。

◆ ブロック塀の点検のチェックポイント

ブロック塀について、以下の項目を点検し、ひとつでも不適合があれば危険なので改善しましょう。

まず外観で1～5をチェックし、ひとつでも不適合がある場合や分からないことがあれば、専門家に相談しましょう。



出典：パンフレット「地震からわが家を守ろう」日本建築防災協会 2013.1 より一部改正

組積造の塀の場合 (れんが造、石造、鉄筋のないブロック造)

- 1. 塀の高さは地盤から1.2m以下か
- 2. 塀の厚さは十分か
- 3. 塀の長さ4m以下ごとに、塀の厚さの1.5倍以上突出した控え壁があるか
- 4. 基礎があるか
- 5. 塀に傾き、ひび割れはないか
<専門家に相談しましょう>
- 6. 基礎の根入れ深さは20cm以上か

- 1. 塀は高すぎないか
塀の高さは地盤から2.2m以下か。
- 2. 塀の厚さは十分か
塀の厚さは10cm以上か。
(塀の高さが2m超2.2m以下の場合は15cm以上)
- 3. 控え壁はあるか
(塀の高さが1.2m超の場合)
塀の長さ3.4m以下ごとに、塀の高さの1/5以上突出した控え壁があるか。
- 4. 基礎があるか
コンクリートの基礎があるか。
- 5. 塀は健全か
塀に傾き、ひび割れはないか。
<専門家に相談しましょう>
- 6. 塀に鉄筋が入っているか
塀の中に直径9mm以上の鉄筋が、縦横とも80cm間隔以下で配筋されており、縦筋は壁頂部および基礎の横筋に、横筋は縦筋にそれぞれかぎ掛けされているか。
基礎の根入れ深さは30cm以上か。
(塀の高さが1.2m超の場合)

点検の結果、危険性が確認された場合は、建築士や専門業者に相談し、速やかに付近通行者への注意表示、補修、撤去などの対応をお願いします。

また、避難路に面した危険性のあるブロック塀の撤去などについては、補助制度(補助限度額30万円)があります。

○お問い合わせ 本庁 情報防災課 南海地震対策係 ☎43-2188
佐賀支所 地域住民課 総合窓口第1係 ☎55-3113